

令和5年度業務執行報告

[令和6年6月1日HP掲載]

I、法人運営の概要

II、事業執行の内容

- ・教育目標及び基本姿勢
- ・当該年度の事業概要
- ・事業の目的計画と実施
- ・実施計画の進捗状況等
- ・認定こども園事業
- ・職員研修（園内、園外）
- ・情報発信の状況

III、学校評価について

- ・保護者アンケート、職場環境評価結果
- ・学校関係者評価の内容

IV、財務状況の内容

学校法人内丸学園 幼保連携型認定こども園

盛岡幼稚園

令和5年度・事業報告書

I 法人の概要

1、法人名： 学校法人内丸学園

2、理事長： 坂 本 洋

3、住 所： 岩手県盛岡市中央通1丁目6-47

電話：019-622-2301 Fax: 019-622-1819

4、設置する学校

名 称： 幼保連携型認定こども園 盛岡幼稚園

認定こども園（認定月日：平成19年2月27日）

類型：・幼稚園型（当初は認可外保育施設併設）

・ 幼保連携型（平成22年4月1日認定）変更

・ 〃 （平成27年4月1日新制度移行）

備考：22年度から0歳児～2歳児は保育所認可【定員21名】、23年度【定員30名】となる。平成27年4月1日から子ども・子育て支援新制度により、従来の幼稚園・保育園が単一施設となり、3号子ども定員30人から42人へ変更。幼稚園学校教育部分は4学級105人。内訳1号子ども定員45人、2号子ども60人へ変更。合計：147人。令和2年度から3歳以上児の定員変更：1号子ども30名。2号子ども75名とする。令和5年度も上記の定員変更のままで運営。

5、学級編成と定員並びに実績 認定こども園定員：147名）令和6年3月1日現

項	5歳児学級	4歳児学級	3歳児学級	計
定員	1学級	1学級	2学級	4学級
	35名	35名	35名	105名
令和5年度実績	1学級	1学級	2学級	4学級
	32名	28名	28名(満3歳0名)	88名
	保育【0歳~2歳 定員42名】0歳：9, 1歳：16, 2歳：16			41名

129名

6、認定こども園受入れ実績状況（認定こども園定員：147名）令和6年3月1日現

入園対象の認定	3～5歳児(満3含)	0～2歳児	計
1号	13名		13名
2号	75名		75名
3号		41名	41名
計	88名	41名	129名

7、法人役員・教職員の概要

理事 7名：理事長1名、理事長代行者1名、理事他5名

(理事長：坂本洋、理事長代行者：松本静毅、理事：坂本信行、荒木田一男、

関 雅彦、中原真澄、黒澤淳子)

評議員15名：寄附行為23条(1)4名、23条(2)3名、23条(3)8名

開催内容：理事会5回、評議員会2回、監査会・外部2回、法人監事2回 計4回

理事会	① 5月27日、②9月8日、③12月22日、④1月27日、⑤3月21日
評議員会	① 5月27日、②1月27日、
監査会	① 5月17日、②5月22日(法人)、③1月31日、④2月6日(法人)

学校関係者評価委員会：年**1**回（令和6年3月18日） 評価内容は別添（P18）のとおり。

苦情解決第三者委員会：年**1**回（令和6年3月18日） //

教職員**33**名：園長**1**名、副園長**1**名、主幹保育教諭**1**名、指導保育教諭**3**名、

保育教諭**13**名、保育教諭(非)**6**名、保育助教諭(非)**1**名

看護師(非)**1**名、栄養教諭**1**名、栄養士**1**名、調理師**2**名、

事務職員**2**名、 【年度中、産休・育休者**2**名】

II 事業執行の概要

1、教育目標及び基本姿勢

(1) 教育目標

生命力にあふれる子ども達が、愛情と活力と創造に満ちた生活をめざし、幼児の心身の発達に応じた豊かな体験が得られるよう教育環境を整え、一人ひとりの心情・意欲・態度の発達を養い、基礎的人間性の土台となる、生きる力や心の教育の育成を目標とする。

また、東日本大震災による被害状況が、かつて経験したことのない甚大な被災となり、これまでの危機管理対応を根幹から見直すこととなり、かけがえのない子ども

も達一人ひとりの命の大切さを改めて教育の根底に据え、安心安全な環境づくりに努めること。

(2) めざす子ども像

園訓： つねによろこぶべし（いつもにこにこ）

- 健康でたくましい子ども
- よく聞きわかり行動する子ども
- すなおに感じ豊かに表現する子ども
- 心身ともに安定した生活を送れる子ども
- 神と人ともに喜ばれる子ども

(3) めざす教師の役割像

- 幼児一人ひとりが、より豊かに遊び、学ぶ生活を過ごせるよう援助する
- 集団生活の中で生きる力、喜びの広がりや育つ環境づくりに配慮する
- 自律と協同の育ちに配慮し、協同的な遊びや学びの環境構成を工夫する
- 総合的な教育と保育の一貫した幼児教育の保育計画づくりに配慮する

(4) 教育目標達成のための基本姿勢

- 型にはめない自由な個性の伸長（個性重視）
- 遊びの十分な保障と充実感（満足感と承認充足）
- 感性や情緒性豊かな環境づくり（夢のある環境）
- 愛情に満ちた子どもとのかかわり（愛着心の育成）
- 善悪の判断基準の適切な指示（社会行動規範の明示）

2、当該年度の事業概要

運営基本方針に基づき、教育目標の達成に努め個性豊かな教育を実現した。

特に改訂教育・保育要領に基く教育指導計画の実施は、本年も引き続き幼児期の終わりまでに育て欲しい10の姿を意識した実践に努め、0歳児から5歳児までの全体指導計画を作成する中で園内・園外研修で培った内容を教職員全員で共通理解を深め実践に生かすことに努めた。

昨年度の幼稚園創立115周年記念事業で、園舎の外壁等修繕及び施設内の環境整備工事の完成に伴い快適な教育・保育生活環境となり、園児の更なる活発な活動が観察された。

コロナ禍4年目で、5月以降は5類移行とインフルエンザ並みの流行感染予防となったが日々の健康観察、保育室や遊具の消毒などを徹底しながら、集団感染予防に努めた。子ども達もマスクの着用や手指消毒、手洗いうがい等、基本的な生活習慣を継続した。

運動会や保護者参観、作品展示、クリスマス会等は内容を工夫しながら、保護者が参観できる機会を増やし、園の教育・保育活動への理解につなげた。

なお、令和3年2月に岩手県庁内保育施設・うちまる保育園（小規模事業所内保育事業）開設に伴う連携施設としての覚書締結による交流があった。

◎（主な行事等）

4月：始業式、第116回入園式、こいのぼり掲揚式 **5月**：避難訓練、健康検診、タッピ
ングの畑、ふたば会総会 **6月**：歯科検診並びに健康診断、花の日礼拝、保育参観と懇談
会、プラネタリウム見学 **7月**：薬剤師検査、七夕、プール遊び、お楽しみ会（内容の縮
小）、**8月**：夏休み、第二学期始業式 **9月**：運動会、歩き遠足 **10月**：作品展 タッピ
ングの畑芋ほり、**11月**：収穫感謝礼拝、焼き芋会、トトロランド、小学校体験学習、保

育参観 12月：クリスマス礼拝、クリスマスコンサート、食育活動 冬休み、1月：鮭の赤ちゃん飼育、始業式 2月：保育参観・懇談会、卒園を祝う会、3月：親子茶会、お別れ会、修業式、第116回卒業証書授与式、鮭の赤ちゃん放流会

(各月の避難訓練を実施した。また各月の園児誕生会では各学年表現活動発表を行った)

◎【1号認定・2号認定園児数状況】

3月末在籍：88、卒・退園児数：32、在籍園児数：56 (A)

3月末入園申込み数：28、新入園児数：28 (B)

次年度期首数(A+B)：84名

◎【3号認定園児数状況】

3月末在籍：41、卒・退園児数：16、在籍園児数：25 (A)

3月末入園申込み数：16、新入園児数：16 (B)

次年度期首数(A+B)：41名

◎ 幼保連携型認定こども園・盛岡幼稚園：次年度期首合計数：125名

3、事業の目的計画と実施

幼児教育の専門性資質向上及び幼児一人ひとりの育ちを保障する保育理念のもとに、ふさわしい教育環境をもって、幼児の心身の発達に応じた豊かな体験と感動に満ちた教育活動を計画立案し、加えて幼保一体化の認定こども園事業を積極的に取り入れた運営を実施した。また昨年の創立115周年の記念事業実施の完成により、より充実した環境整備となり、創立時の建学の理念を振り返る機会を意識して、園児と共に多くの諸行事を実施した。

◎質の豊かな食育・給食提供のため、3号園児への自園給食調理機能の充実を基本とし、また1号、2号園児への完全給食提供のため給食調理室稼働の充実を図り、園児への食育指導の計画案を作成し実施した。

◎ また、個別的配慮を要する園児は保護者の要請により**6名**（精神発達遅滞2名、自閉症・多動1名、精神遅滞境界域2名、自閉スペクトラム症1名）の受入れとなり、健常児の中で持てる能力の成長に留意し、個々の支援計画を作成し職員の共通理解を深め、療育センターとの支援のもと丁寧な関わりに努めた。また園内研修で特別支援の共有に努め合理的配慮を要する子ども指導を強化した。

◎ なお、教育課程外の預かり保育（家庭部保育）は、認定こども園事業実施の中で継続して実施している。詳細利用実績は下記記載 5、の通り。

◎ 新制度移行の当園の経過は、認定こども園として、平成19年2月27日付けで岩手県第一号の認定。当初は幼稚園型であったが、平成22年4月からは、認可保育園として、0歳児を加え認可保育事業として実施しており、また子ども子育て支援新制度以降は、改めて幼保連携型認定こども園として、単一施設としての『盛岡幼稚園』を更に前進させている。

◎ 本年度の3号認定児の入園受け入れ実績は、令和5年4月初日在籍39名(0歳児:6名、1歳児:16名、2歳児:17名)と定員を下回る状況。新年を迎え令和6年3月には、在籍数41名(0歳児:9名、1歳児:16名、2歳児:16名)とほぼ定員(42名)在籍数で、特に0歳児は昨年同様に6名定員のところ9名在籍となった。これは入園許可認定を行う盛岡市福祉行政当局から待機児童解消のための要請によるものです。

4、事業実施計画の進捗状況等

計画された教育・保育活動は、継続するコロナ禍の中にも年度計画所期の目的を達し、個

人の発達に応じた生きる力や心の教育の育成並びに保育養護の向上に貢献した。

特に教職員の自己点検意識が高まり、客観的に自らの指導計画や子どもに向き合う姿勢並びに教職員集団の力として、昨年に引き続き園内研修実施等発揮できる体制の確立となっている。

なお、東日本大震災以来、改めて危機管理対応の見直しを行い、また新型コロナウイルス感染予防のマニュアルの徹底等により3密回避による教育活動内容や、保護者参観等の見直しを図り、子ども主体優先の行事となるよう実施。このことは保護者へも伝え共通理解を深め、ご協力・情報の共有に努めている。

◎ 盛岡幼稚園 **教育実施日数**：年少クラス、年中クラス、年長クラス 40週

3歳児（195日）、4歳児（194日）5歳児（199日）

◎ **保育実施日数**：・0歳児～2歳児 293日 ・3歳児～5歳児 293日

5、認定こども園保育事業（預かり保育）

（1）預かり保育推進事業の実績数

	満3歳児	3歳	4歳	5歳	計
2号認定利用児	0	25	25	25	75
1号認定利用児	0	1	0	0	1

3歳児から5歳児の月平均利用は62名（昨年75名）。その内1号認定児は1名。2号認定児は75名で全員標準時間利用児であった。なお、臨時的利用児は、月平均9名の実績となった。

預かり保育の1号・2号児の保育指導状況は、臨時の預かり保育利用児を含め、3歳児、4歳児、5歳児各年齢児を各担当職員の掌握日課で実施した。

特に5歳年長児は6月以降の午後保育中の午睡を柔軟に取り入れた保育を行うこととし、幼小接続を意識したアプローチカリキュラムを考慮した教育・保育活動。また、早朝と延長保育は異年齢合同保育として行っている。

また、土曜日保育利用は2号児のみ、年間利用実績数345人、月平均29人、週平均7～8人で異年齢合同の処遇としている。(3号児の保育は、別室の別処遇である)

◎年間開設日数：保育日数は年長児クラス195日及び、土曜日：延べ利用数:345名、月平均29名(昨年203名、月平均17名)、春・夏・冬休みの実施を入れ293日開設した。

◎子育て支援事業(トトロハウス)：週1回、年間開催回数26回、登録者数：21名
年間71組の利用。一回平均参加者数2.7組(昨年1.3組)昨年より多い利用。【親子参加、費用無料、前日までに申込み】 ※昨年はコロナ感染予防のため参加者受け入れを6組に制限。
本年5月から5類に移行し制限解除した。

(2) 子育て相談事業：相談件数は88件、一般：0件(昨年0件)、園児(子育て支援事業参加者)保護者：88件と、昨年の総件数88件と同数であった。

・相談内容：しつけ・育児が31件(35%)、排便排尿が8件(9%)、発達・障害17件(19%)
食事12件(14%)、友達とのトラブル6件(7%)、その他5件(6%)の内容であった。

・相談対応：継続観察31件(35%)、助言指導55件(63%)、専門機関紹介2件(2%)。

面談相談が多く(9割)、助言指導が6割を占め、継続観察ケースは、しっかりと見守り
以後の観察報告を丁寧に実施した。

なお、本年も一般相談が皆無であったが、コロナ禍の影響で上記掲載の子育て支援事業への参加者受け入れを制限したことが、少ない原因とも考えられる。

6、令和5年度 職員研修実績

(1) 令和5年度 園内研実施報告

* 研究テーマ

『遊びが深まる、学びが生まれる環境構成について』

日 程	内 容	記録
4月18日(火) 14時～	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年の園内研修の振り返り ・ 各クラスの様子 ・ 今年度の研究テーマについて(テーマの視点を絞る) 	齊藤
5月16日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境構成の考え方について ・ 一昨年の園内研修「自然との関わり・生命の尊重」 	中村 (美)
6月20日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 気になる子どもや、合理的配慮が必要な子どもについて <p style="text-align: right;">【特別支援・教育相談係】</p>	村松
7月18日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不適切保育について 	林崎
8月22日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼小の連携 ・ 幼保小の架け橋プログラムについて 	面来
9月19日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度の研究テーマに沿った事例の検討 <p>事例【3歳児の遊びと環境構成】</p>	齋藤 (純)
11月1日(水)	<p>事例【4歳児の遊びと環境構成】</p>	相原

11月27日(月)	☆ 幼児教育専門員訪問支援事業 保育参観(全クラス)とカンファレンス	石田
12月27日(水)	事例【2歳児の遊びと環境構成】	齋藤 (由)
1月16日(火)	・研究のまとめ	中村 (真)
2月20日(火)	・気になる子どもや、合理的配慮が必要な子どもについて 【特別支援・教育相談係】	田口
3月	・まとめ ・次年度に向けて	研修担当



※日程は、行事の関係等に変更あり。 ※外部研修報告は、復命書回覧にて行う。

【非常勤職員の研修】

- ① 6月22日(木) …合理的配慮を要する子について
- ② 11月21日(水) …3歳児4歳児の環境構成について
- ③ 2月22日(木) …合理的配慮を要する子について(一年間の変化)

○この他にも職員間で話し合いの機会を設け、研修の機会とする。

- ・ 行事や保育活動の検討
- ・ 個別支援計画、個人記録、学級経営
- ・ 月案、週案の作成と検討
- ・ 学期毎の反省と評価
- ・ 活動や教材の理解と研究 など

(2) 園外研修実施報告

◎特別支援に関する研修会 □保幼小連携に関する研修会 ○その他

日程	研修会（主催者）	研修内容
4.27・28	◎令和4年度発達支援研修会 (Zoomによる再配信)	・講義「ことば育ての土台作り」 ・講義「気になる子の保護者とかかわりのポイント」
5.11	◎令和5年度子どもの発達支援講演会 (Zoom)	・講演「気になる子が生きるクラスづくり」
5.12	○幼児教育中核リーダー養成研修講座Ⅰ	・講義「子どもを真ん中にした幼児保育の充実のために」 ・講義「園内研修の進め方」 等
5.30～31	○幼稚園等初任者研修講座 センター研修Ⅰ	・講義「初任者に望むこと」 ・講義「幼児期の教育の現状と課題」
6.3	○県連 第1回新任教諭研修会	・講演「乳児期の教育・保育の重要性」 ・講演「幼児教育の役割」
6.8	□保育園・幼稚園・小学校交流研修会	・講義「特別な配慮を必要とする子どもへの支援の在り方」 ・分散会協議「今年度実践した『スタートカリキュラム』を基にした指導の改善」
6.16	□仁王小学校 学校公開研究会	・授業参観 ・分科会 講演会
6.19	□城北小学校 幼保小連絡会	・授業参観 ・全体会
6.22	○保育者レベルアップ研修講座ステ	・講義「幼児理解に基づく保育実践」

	ップル	・講義「乳児保育における資質・能力の育成」等
6.24	○盛岡市私立保育園新任職員研修	・講演「新任職員としての心構え」
6.27	○令和5年度給食従事者研修会	・講演「給食施設における食中毒予防と衛生管理について」 ・連絡「栄養管理状況報告書について」等
7.1	○令和5年度第4回新任教諭研修会	・講演「乳児期の発達」 ・講演「保育の環境構成と実践」
7.11	○令和5年度就学前教育管理職研修 講座	・講義「園長・施設長に求められること」 ・実践発表「園におけるカリキュラムマネジメント」等
7.11	○盛岡市保育所協議会 公開保育	・前潟保育園 公開保育 「みんなで楽しむ夏祭り ～夏祭りの取り組み～」
7.15	◎盛岡市保育所協議会 特別事業班 教養講座	・講演「保育園での気になる子どもとその保護者へのサポート～保育者にできる支援～」
7.19 ~ 21	○幼稚園等中堅教諭等資質向上研修 講座	・講義「幼児期の教育の現状と課題」 ・講義と演習「幼児期等におけるカリキュラムマネジメント」
7.26	○盛岡市保育所協議会公開保育	・公開保育テーマ「夏だ！プールだ！どろんこだ！ 家庭的な雰囲気の中で育ちあう～」
7.27	◎令和5年度 発達支援研修会	・講義「ことば育ての土台作り」
7.29	○岩手県私立幼稚園・認定こども園連 合会 第1回教員研修会	・講演「幼児一人一人の発達と適応の理解と援助」 ・演習「園のアレルギー時の対応」等
7.31	□幼保小の学びをつなぐ研修会	・説明「幼児教育と小学校教育をつなぐカリキュラムの作成」

		・講演「幼児期の教育と小学校教育との連携・接続」等
8.4	□盛岡市教育研究所公開講座 幼・保・小の接続を意識した幼児教育講座	・講義とグループ協議 『『幼児期の終わりまでに育ってほしい姿』でつながる』
8.4	◎盛岡市保育所協議会 研修班	・講演「保育の中で気になる子どもの支援と保護者支援」
8.18	□令和 5 年度岩手県幼児教育研究協議会	・講演「こども家庭庁における乳幼児期の教育・保育関係事業」 ・分科会
8.25	○令和 5 年度第 1 回経営セミナー	・講演「教員養成現場と保育現場への接続と連携」 ・講演「児童相談の現状と対応」
9.2	○盛岡市保育所協議会 特別事業班	・講演「0, 1, 2 のところを読み解く保育のまなざし」
9.5～9.7	○幼稚園等初任者研修講座 センター研修Ⅱ	・講義と演習「発達に応じた造形表現活動」 ・講義と演習「保育に生かすカウンセリングの基礎・基本」等
9.20	○令和 5 年度総合教育センター研修講座 感情コントロールの力を育てる教師のかかわり【教育相談】	・講義と演習「指導要録の概要・記載の実際」 ・研究協議「幼児理解と指導援助の視点～保育参観に向けて～」等
10.5	◎盛岡医師会 母子保健・思春期保健講演会	・講演「愛着障害の理解と愛着の問題を抱えるこどもの支援」
10.11	○令和 5 年度こども赤十字活動研究会	・講話「こども赤十字活動と 10 の姿」 ・講義「各園における赤十字活動の具体と工夫」

10.17	○保育者レベルアップ研修講座ステップ2	<ul style="list-style-type: none"> ・講義と演習「幼児理解に基づく指導計画」 ・講義と演習「幼保小接続を踏まえた指導と評価に生かす記録」
10.21	○保育所協議会 特別事業班体育実技研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・講義「きょうはとことんリトミック！」音を知る、音楽を学ぶ
10.23～24	○全日本私立幼稚園連合会 設置者・園長全国研修大会（山形大会）	<ul style="list-style-type: none"> ・行政報告「こども家庭庁と幼児教育の関わりについて」 ・研修講座「園長・リーダーが知っておくべき教育的課題」
10.31～11.2	○幼稚園等初任者研修講座 センター研修Ⅲ	<ul style="list-style-type: none"> ・講義と演習「指導要録の概要・記録の実際」 ・講義と演習「充実した園生活のための環境構成・援助」
11.2	○令和5年度保育所長部会	<ul style="list-style-type: none"> ・講義「保育所における業務継続計画（BCP）及び安全計画作成のポイント」
11.3	○日本保育保健協議会東北ブロック講演会	<ul style="list-style-type: none"> ・講演「濡れてふやけた母子健康手帳」 ・講演「明日へ 東日本大震災から12年」
11.10	○令和5年度岩手県保育技術研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・講義「保育所職員としての自覚と保育現場のこれからの課題」 ・講義「職場の問題解決、リアリティショックへの対応」
11.14	○令和5年度新任保育士就業継続支援研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・講義「保育者の育ちのために～非認知的専門性という視点から」 ・研修「子ども理解に基づく環境構成と教材研究」
11.20	○令和5年度幼児教育中核リーダー養成研修講座Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> ・講義「これからの教育・保育の方向性」 ・講義と演習「保育の質向上につながる園内研修」等
11.22	○保育所協議会 わかば保育園公開保育	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ「仲間と共に育ち合う」
12.7	□令和5年度幼児教育の理解・発展推進事業（中央協議会）	<ul style="list-style-type: none"> ・行政説明「幼児教育の重要性」 ・シンポジウム「保育の基本を考える」
12.15	□令和5年度岩手県幼児教育フォーラム	<ul style="list-style-type: none"> ・講演「個別最適な学びと共同的な学びによる資質・能力の育成」

		・パネルディスカッション「子どもが主体の学び～架け橋期のカリキュラム作成に取り組んで～」
1.11～ 1.12	○岩手県私立幼稚園・認定こども園連 合会 総合研修会	・講演「資質・能力をつなぐ幼保小の架け橋プログラム」 ・講演「乳児への適切な関わり」 等 ・講演「組織における課題の抽出および解決策の検討」 ・講演「職員への指導助言について」 等
2.9	◎盛岡市障がい児教育推進協議会 実践交流会兼研修会	・実践発表 仁王小学校特別支援学級 ・講演「子どもの心の安定と家庭支援について」
3.22	○岩手県私立幼稚園・認定こども園連 合会 教員研修大会	・講演「全ての子どもたちの幸福な人生のために」 ・分科会、研究発表
*	○盛岡地区教員研修会 月 1 回	・班ごとのテーマ「子どもの心を聴く」 「3歳未満児の生活と保育環境」

※園外参加研修については、復命書の回覧にて全職員で共有。

7、情報の発信の状況（公表・公開）

（1）園報の発行：年4回発行。発行部数250部。法人及び園内情報。

送付先は、保護者（110部）、同窓生、関係機関他（140部）

（2）その他の情報発信

幼稚園便り(全世帯)： 12回（毎月1回発行）、

保育部便り(0・1・2歳児世帯)： 12回（毎月1回発行） 臨時便5回

学年便り：年長児クラス21回、年中児クラス12回、年少児クラス12回

給食便り(毎月)、 ほけん便り：年 9 回

県 PTA 連合会会報：2 回、PTA しんぶん：紙ベース 7 回、デジタル版 4 回、

あんふあん：12 回

(3) インターネット・ホームページ：幼稚園の沿革及び業務内容の紹介。

園児活動状況の随時紹介 **Web お便り 20 回、にこにこ園日記 30 回**発行は好評。

また、業務執行・年度状況の報告（財務状況を含む）を公表。

アドレス：<https://1907-mkg.com>

III 学校評価について

平成 19 年 6 月に学校教育法、同年 10 月に学校教育法施行規則の改正により、自己評価・学校関係者評価の実施・公表に関する規定が新たに設けられました。当園では、教職員による業務の自己点検・自己評価は、平成 20 年度から実施しております。

また平成 27 年度の新制度施行によって、当園は幼保連携単一施設となり、従来の幼稚園のみに設置されていましたが『学校関係者評価委員会』、及び保育園にのみ設置されていましたが『苦情解決第三者委員会』を、単一施設として両委員会を設置し、学校関係者評価委員会及び苦情解決第三者委員会を合同で委員会を開催し、本園の運営並びに経過について評価を頂き今後の運営に資することにしております。

なお令和 5 年度は、保護者へのアンケート及び職員による職場環境アンケート結果を公表します。

1, 令和5年度 保護者アンケート集計・考察

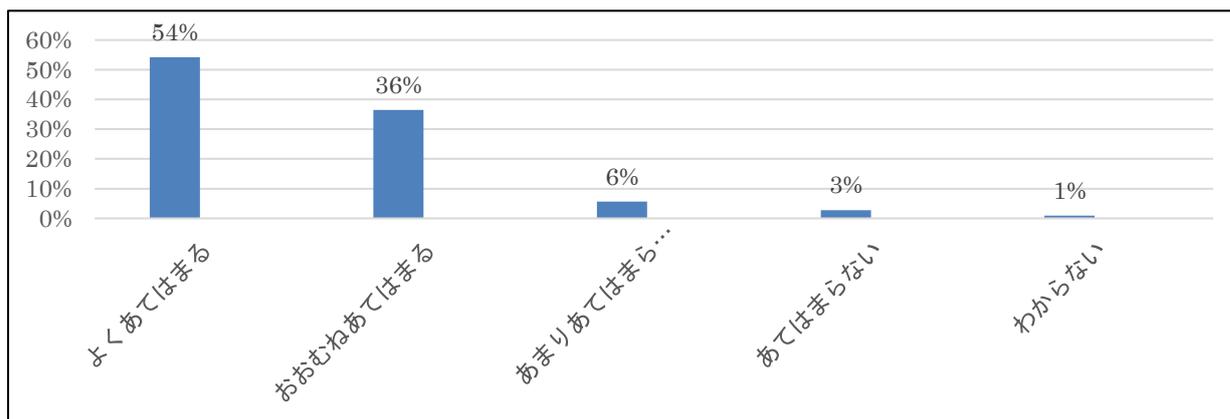
実施期間： 令和5年12月6日(配信) ～ 令和5年12月22日(回答締切)

実施形態： おがスマ アンケート機能を利用

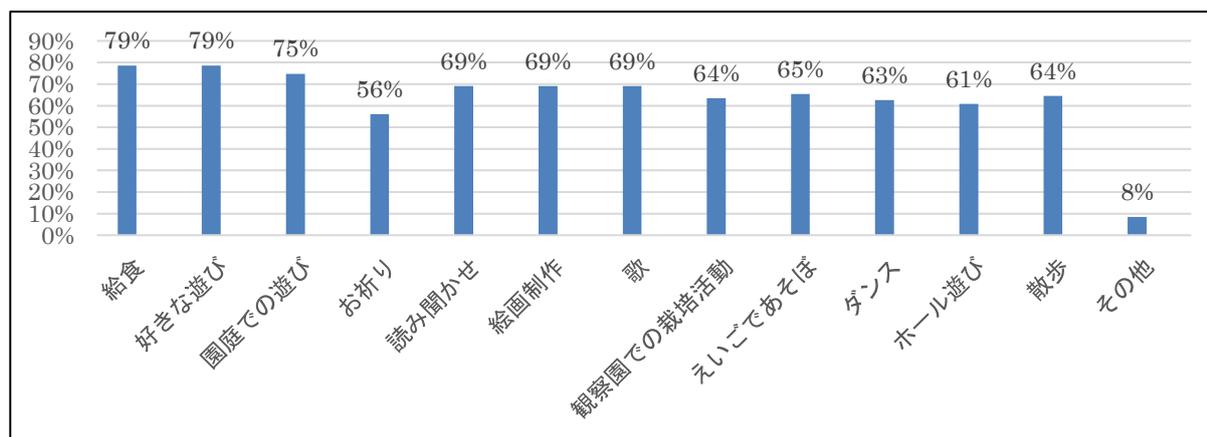
	回答数	在籍数(人)	回答率
保育部	34	41	82.9%
幼稚園部	73	88	83.0%
合計	107	129	82.9%

～教育・保育について～

問 2 お子さんは、幼稚園が楽しいと感じていますか。



問 3 盛岡幼稚園での教育・保育活動でよいと思われることはなんですか。(複数回答可)



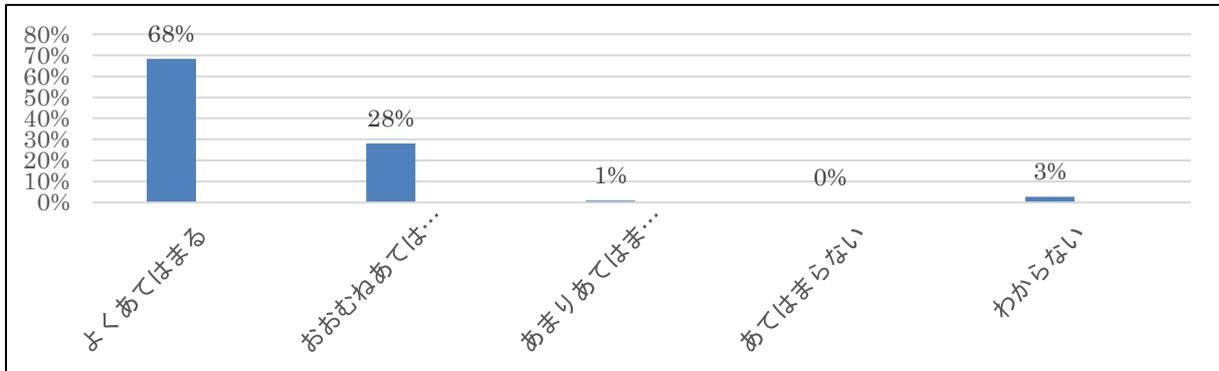
◎その他の回答

- ・花の日礼拝
- ・運動会
- ・クリスマス会
- ・収穫感謝祭
- ・誕生会
- ・お茶
- ・書道

問 4 園の教育保育活動で、もう少し充実してほしい内容がありましたらお知らせ下さい。

- ・英語 ・礼儀 ・ダンス ・算数 ・国語 ・歌 ・食育 ・園外での散歩や外遊び
- ・演劇 ・演奏 ・プール ・紙染め ・歯磨き ・体力づくり ・体操教室 ・読み書き

問 5 園行事は、時期や内容など適切に実施されていると思いますか。

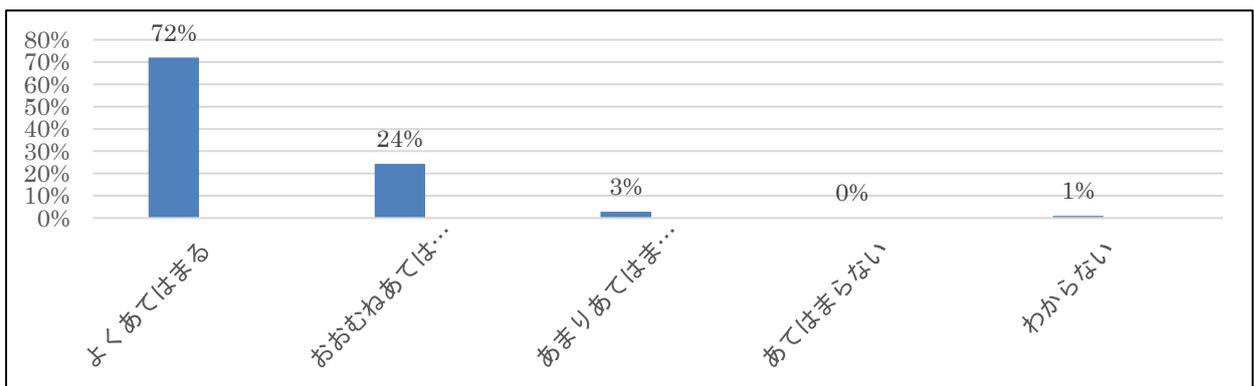


【考察】

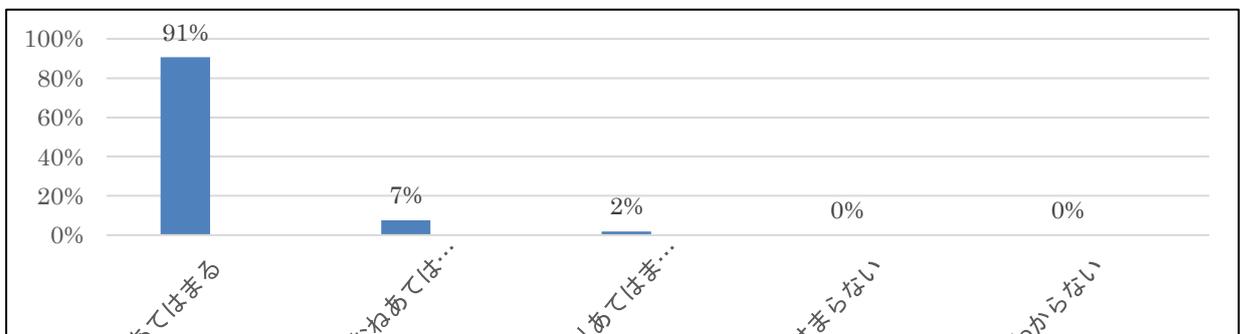
問 2～問 5 の項目では約 9 割の方から「よくあてはまる」「おおむねあてはまる」の評価を頂きました。問 3 の教育・保育活動では好きな遊び、園庭での遊び、給食が 8 割を超えており、当園の“遊びが学び”の教育方針にご理解を頂いているものと思います。しかしながら、

～職員・保育教諭について～

問 6 保育教諭は子ども1人1人の気持ちに寄り添う関わりができていますか。



問 7 職員は挨拶や適切な言葉遣いができていますか。

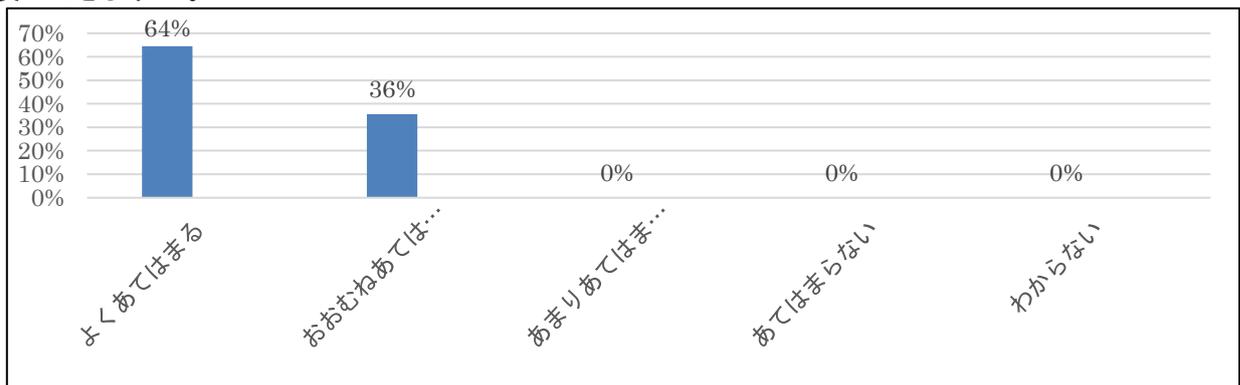


【考察】

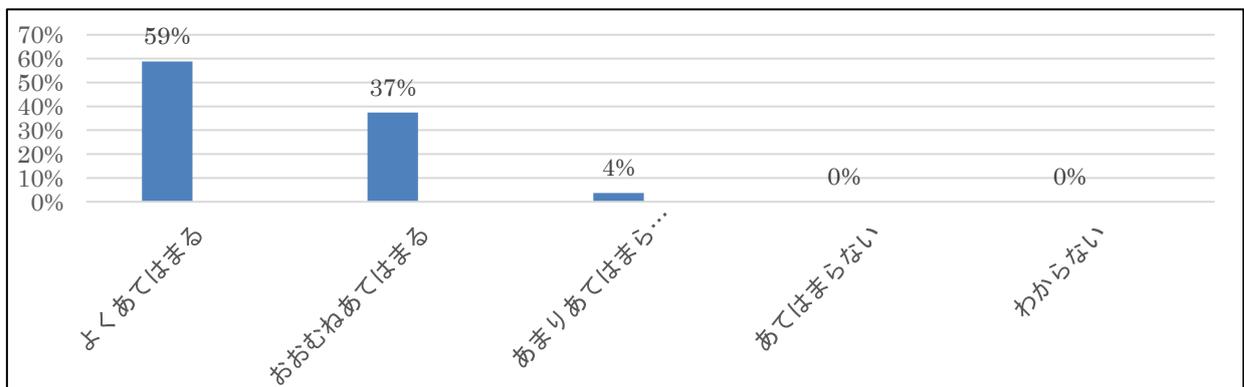
問6の項目では約9割の方から「よくあてはまる」「おおむねあてはまる」の評価を頂いておりますが「あまりあてはまらない」「わからない」との評価もありました。今後も一人一人

～ご家庭と幼稚園との連携について～

問8 連絡帳(保育部)や、送迎時の保育教諭との会話などを通して、ご家庭での子どもの様子について情報の交換ができますか。



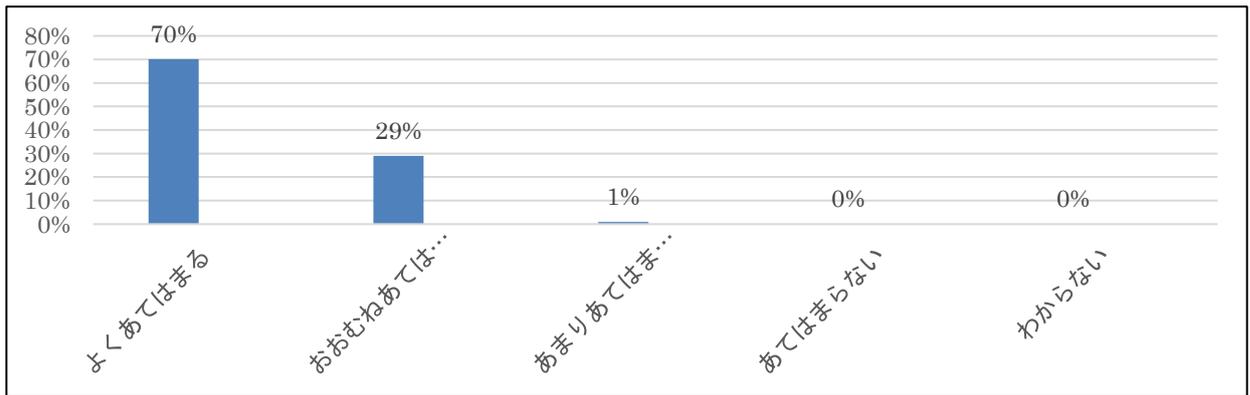
問9 幼稚園やクラスの様子などについて、「園だより」や「クラスだより」、「Web おたより」などを通してお知らせしていますが、それに対して満足されていますか。



問10 幼稚園は、安心して話したり、気軽に相談したりできる雰囲気があると感じられますか。



問 11 幼稚園は開かれた施設で、信頼できる園であると思いますか。

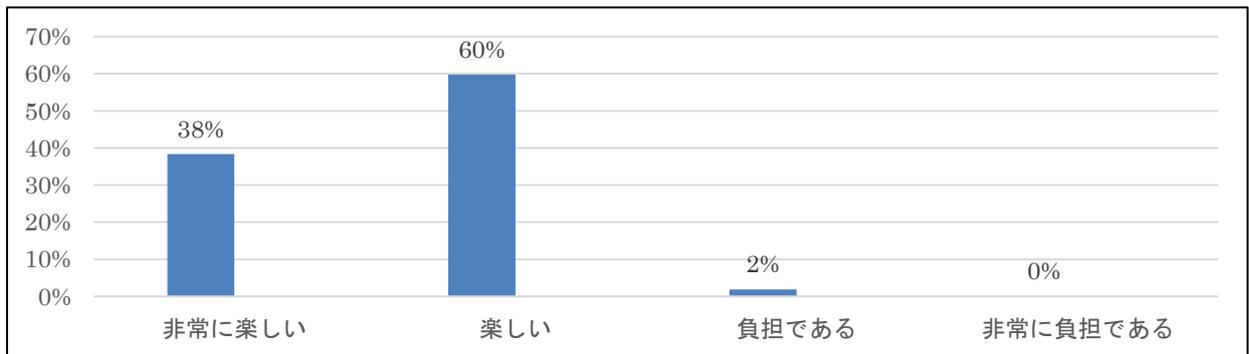


【考察】

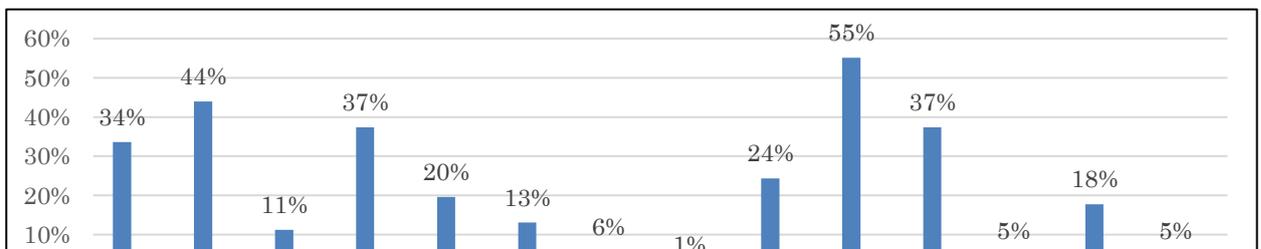
問 8～問 11 では約 9 割の方に「よくあてはまる」「おおむねあてはまる」の評価を頂きました。園の方針である“家庭と園との協同”の上でも情報交換ができる、気軽に相談できる園

～子育てについて～

問 12 子育てについて、どのように感じていますか。



問 13 ご家庭で、お子さんの育ちに関して最も気を使っている事柄、3つ教えてください。



◎その他の回答

- ・コミュニケーション
- ・できた時、感謝の気持ち、謝りのことを感じた時に直ぐに伝える

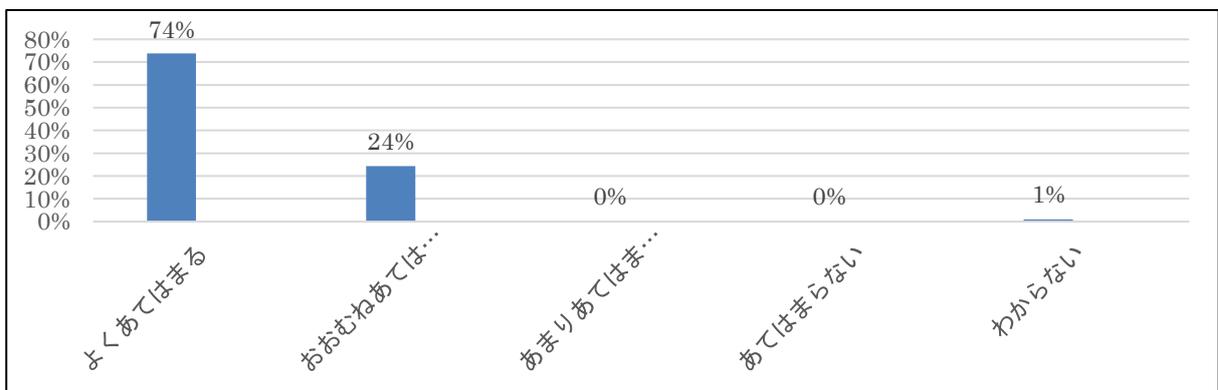
【考察】

問 12 は子育てに対して「非常に楽しい」「楽しい」が多数ですが、「負担である」と感じている方もいらっしゃいました。子育ての楽しさを保護者に発信したり共有できる場を設定した

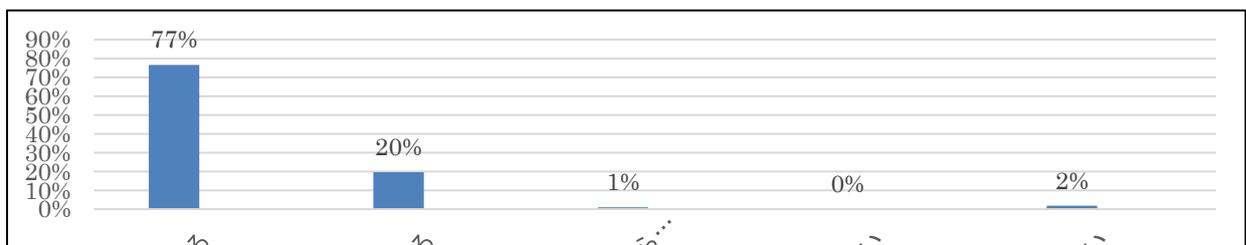
り相談しやすい環境作りをしていきたいと思えます 問 13 では食事 挨拶 健康 病気につ

～その他～

問 14 園では、自園菜園や給食などを通して食に関する知識や感謝の気持ちが育つ食育を行っていると思いますか。



問 15 園では、避難訓練などが適切に実施され、子どもへの安全指導が行われていますか。



【考察】

問 14、問 15 では 9 割以上の方から「よくあてはまる」「おおむねあてはまる」の評価を頂きました。自分たちが育てた野菜を観察したりお世話を通して、苦手意識のある野菜に挑戦

問 16 その他、ご意見・ご要望・ご感想

【ご意見・ご要望】

- ・クラスだより等、おがーるシステムで見られると便利だなと思います。
- ・コロナも落ち着いてきたので祖父母が園行事に参加できる機会が増えたらいいな。
- ・写真撮影ができればいい。写真の販売だけではなく、データでもほしい。
- ・一年を通して少しでもいいので動画などがあれば見たいと思う。
- ・夏の園日記で保育部のプールの様子がホームページに掲載されていたが、オムツの写真はあまり良くないのでは(変な人が写真を保存していたら怖いので)
- ・子どもを迎えに行った際、今日の様子を伝えてくれるのは嬉しいが話が長い時があり、子どもが門から飛び出そうとする子も見られる。リスクマネジメントに繋がるので気を付けていただきたい。挨拶をしない職員がいるのでしてほしい。
- ・朝、登園したら手洗いをしてほしい。
- ・熱がでたときに迎えに行った際、とても嫌なことを言われ不快でした。
- ・登園時の受け入れの際、人が多いところで個人情報となるような内容は適切ではないと思う。
- ・2年ごとにアンケートを行っているが結果をもとに振り返り変えた部分を知りたい。
- ・幼稚園も簡単な連絡帳のようなものがあればいいと思います。
連絡事項を伝え忘れることがあるので…。 (ご意見・ご要望は全体で 11 件ありました)

【感想】

- ・先生方のおかげで楽しく充実した園生活を送っています。
- ・安全に健康に子どもをみていただいております。
- ・園での様子を丁寧に見ていただき、子どもの目線で本人の気持ちに寄り添っていただいております。
- ・家庭保育ではできないような教育的な保育をしてくださっていて感謝です。
- ・リュックに入っている工作や「今日はこんな遊びをしたよ」のお話で楽しい園生活がわかります。
- ・子育てのなかで気になることがあったら先生方に相談させていただいている。

その関係性に大変助けられている。子どもに忍耐強く接していただいております。

・先生方の愛情を受けてすくすくと育っています。

一つ心配なのは先生方の休憩時間は取れていますでしょうか？何かの記事で保育士さんは休憩時間を確保するのが難しいと聞き気になっています。心身ともに元気であってほしいので、業務をしない休憩時間が確保されますように。

・自園菜園で野菜を育て食べ物に関心がでて以前よりも野菜を食べるようになった。

・先生方の雰囲気がいい。

【全体の結果について】

今回初めておがーるシステムを使ってのアンケートを行い回収率は82.9% でした。

いただいたアンケート結果は園全体で共有し、より良い教育環境づくりにこれからも取り

組んでいきたいと思えます。前回のアンケートでは職員の連携や写真購入についてのご意

見が寄せられ、改善させていただきました。また今回のアンケートでもたくさんのご意見

2. 令和5年度 職場アンケートについて

平成28年度より毎年全職員に対して場環境及び個人のストレス度をアンケート形式で調査している。そして個人の健康状態の把握や職場環境の改善に努めている。実施時期は、1学期末の7月とし、その調査結果をもとにして個人面談を実施。年によって調査内容は異なるが、今年度(令和5年度)の調査結果を公表する。

集計結果

I、職場環境について 仕事に関して最も当てはまるものに○をつけてください

3 ややちがう 4 ちがう

常勤職員全体集計

番号	項目	幼常	10	保常	7	給事	6人	23人	平均		
1	たかさんの仕事をしなければならない	20	2	13	1.9	12	2	45	2		

2	職場の仕事の方針に自分の意見が反映できる	16	1.6	14	2.0	12	2	42	1.8		
3	職場の雰囲気は友好的である	13	1.3	12	1.7	12	2	37	1.6		
4	仕事の内容は自分にあっている	18	1.8	13	1.9	10	1.7	41	1.8		
5	仕事に満足している	18	1.8	12	1.7	12	2	42	1.8		
6	職場の課題や困ったとき上司に相談できる	13	1.3	10	1.4	12	2	35	1.5		
7	職場の課題や困ったとき同僚に相談できる	13	1.3	11	1.6	10	1.7	34	1.5		
8	必要に応じて有給休暇が取得できる	15	1.5	11	1.6	10	1.7	36	1.6		

Ⅱ、個人の健康状態について 1か月間の自分の体調に関して最も当てはまるものに○をつけてください
 評価基準 1 なかった 2 ときどきあった 3 しばしばあった 4 いつもあった

番号	項目	幼 常	10	保 常	7	給 事	6 人	計 23 人	平均		
9	ひどく疲れる	20	2	13	1.9	15	2.5	48	2.1		
10	だるい	15	1.5	13	1.9	13	2.2	41	1.8		
11	何をするのも面倒だ	16	1.6	11	1.6	7	1.2	34	1.5		
12	食欲がない	12	1.2	10	1.4	10	1.7	32	1.4		
13	よく眠れない	12	1.2	13	1.9	8	1.3	33	1.4		

非常勤職員全体集計

番号	項目	幼 非	4	保 非	4 人	計 8 人	平均		全 計	全 平	
1	たくさんの仕事をしなければならない	12	3	13	3.3	25	3.1		70	2.3	
2	職場の仕事の方針に自分の意見が反映できる	9	2.3	7	1.8	16	2		58	1.9	
3	職場の雰囲気は友好的である	7	1.8	6	1.5	13	1.6		50	1.6	
4	仕事の内容は自分にあっている	6	1.5	7	1.8	13	1.6		54	1.7	
5	仕事に満足している	7	1.8	6	1.5	13	1.6		55	1.8	
6	職場の課題や困ったとき上司に相談できる	7	1.8	5	1.3	12	1.5		47	1.5	
7	職場の課題や困ったとき同僚に相談できる	6	1.5	5	1.3	11	1.4		45	1.5	
8	必要に応じて有給休暇が取得できる	5	1.3	4	1	9	1.1		45	1.5	

番号	項目	幼 非	4 人	保 非	4 人	計	平均		全 計	全 平	
9	ひどく疲れる	10	2.5	4	1	14	1.8		62	2	
10	だるい	8	2	7	1.8	15	1.9		56	1.8	
11	何をするのも面倒だ	7	1.8	6	1.5	13	1.6		47	1.5	
12	食欲がない	4	1	6	1.5	10	1.3		42	1.4	
13	よく眠れない	8	2	5	1.3	13	1.6		46	1.5	

2, 委員会の方々のご紹介

3, 挨拶 坂本理事長 松本委員長

4, 報告と協議

(1) R5年度業務執行報告

○R5年度業務運営方針と業務執行報告

- ・ R5年度運営方針①② ・ R5年度運営の反省（成果と課題）
- ・ 幼稚園事業報告 … 一年間の保育の様子をパワーポイントで説明
- ・ 特色ある幼児教育振興事業について ・ 園内・園外の研修実施報告
- ・ 園からの情報発信（3月現在）

○子育て相談集計結果 ○ヒヤリハットと事故報告の集計結果と考察

○職場アンケートの集計結果と考察 ○利用者アンケートの集計結果と考察

(2) R6年度業務運営方針並びに学級編成

- ・ R6年度運営方針②④ ・ R6年度学級編成及び園児数（4月予定）・ R6年度定員

5, 評価 質問・感想等

[Aさん]

- ・ Aクラス保護者の一人として、娘が5年お世話になり本当にありがとうございました。
- ・ 細かいところまで記録、共有をして取り組んでいることを感じた。親としては、傷や怪我があるのは当たり前と思いついておられるが、保育教諭が少しでも防ごうと取り組んでいる様子が感じられた。
- ・ 今後も現在の体制で保育して欲しい。

[Bさん]

- ・ 環境づくり等、改めてありがたく感じた。ありがとうございました。

[Cさん]

- ・環境検査で来園。保育教諭が健康管理を含め、細かく対応していると感じている。
- ・ヒヤリハットの中から…消毒液の間違い、事故はどこでも起こりうる。十分注意必要。

[Dさん]

- ・保育計画が一人一人の成長に繋がっていることが感じられた。
- ・職業柄、いろいろな園に撮影に行く。生活発表会として、見せる発表を華々しく催す園が多くあるが、盛岡幼稚園では、見せるための演技を華々しくやらせない。一人一人のペースに合わせて、得意な子は得意なことを。その子なりのペースを守りながら過ごせるような園風であると思う。その点に関して、親によっては、不満を感じる方もいると思うが、園の方針をよく理解している親が多いのではないかと。保護者に対しても理解を得られるよう取り組んでいる。今後もなお一層深めて行って欲しい。

[Eさん]

- ・運動会を急遽体育館で開催した際、不安になるものであるが、総練習をしなくてもできたという点で、保育教諭のチームワークを感じた。
- ・来年度は小学校との円滑な接続がテーマになるとのこと。自身が小学校に務めていた時に、保育教諭が小学校に来る研修があった。そのような企画ができるのなら検討して欲しい。
- ・学校生活の中で子どもの心が育つ場面として、縦割り活動があった。自分より小さい子と関わることで大きな成長につながる。園でもそのような活動を取り入れて行って欲しい。

Q. おがスマについてどのようなものか、機能や今後の活用について知りたい。→回答は閉会の前に

[Fさん]

- ・町内会の立場としては、雪で転倒する等なくてよかったと感じている。
- ・コロナ禍では、町内会の取り組みで何ができるか悩んだが、園での工夫した取り組みに感心した。

- ・小学校との連携を図って欲しい。行事等、町内会の盛り上がりにも繋がる。

[Gさん]

- ・五感を刺激していることがとてもいいな、と感じる。歯医者で園での話をする子がいる。とても嬉しそうに話していることが嬉しい。
- ・個人を大事にするという事と、個性を認め合うという事が、関心を持たないということにならないように。大人になるほど、尊重するという意味で、他人に関心を持たなくなってくる。人と関わる分ぶつかりもあるが、たくさんその機会を持ってほしい。

[Hさん]

- ・初めての参加。子ども達の様子を見ると、表情豊かで、それがとてもいいと感じた。園生活の中では嫌なこと、辛いこともたくさんあると思うが、いい姿が見られることで、関わりが上手くいっているということだと思う。
- ・子育て相談を見て…子育てする親の悩みが細々たくさんある。保育教諭と一緒にあって悩んだりアドバイスしてくれたりすることがあってこそ、パワーポイントにあった子ども達の姿と感じた。
- ・卒業式に参加して… 子ども達の様子を見せてもらい、入場から目が輝いていて、一人一人が式への気持ちを持っていることがすごいと感じた。合唱がきれいで、幼稚園の合唱かな？と思った。行事のための演技ではなく、歌が楽しいから歌っている姿があった。園全体で子どもたちを励ましていることを感じた。
- ・一年間お疲れも多かったと思いますが、子ども達がうまく育っていることを感じる事ができた。

➡おがスマについて回答… (佐々木)

- ・園で導入しているシステム。各主担任のPCに入っており、主に出欠状況の把握に活用。スマホアプリ「おがスマ」を入れると、個別のバーコード表示を使って打刻が可能。メールシステムもあり

、園が日々の連絡や、緊急連絡を配信。園では既読確認がとれ、補完作業が可能。

- ・保育部では体位測定の結果を入力し、保護者が発育曲線を併せて確認できる。
- ・今年度はアンケート機能を活用し、利用者アンケートを実施。
- ・今後は出席簿等、職員の業務軽減につながるよう模索していきたい。

>保護者の登録は100パーセントか？

- ・はい。100パーセントです。

【理事長より】

- ・感想をたくさん頂いて有難うございました。R6年度の運営事業に繋げていきたい。
- ・盛岡幼稚園のステータスは、個々の個性を尊重しそれを良さとして豊かに取り入れる方針。色んなお子さんの多様性を受け入れるという方向性です。
- ・社会的に発信するものとしての生活発表会等を他園のように大々的には行わない。諸行事による成長は子どもを中心に主体性を大事にして、集団で一つの発表をする過程を重視。社会的発表を演出する事で保護者や職員も、子ども自身にも大きな負担になっている園もあると聞きます。
- ・例えば…かつての聖誕劇、博士は基本3人だが、子ども達での話し合いでどうしても博士を演じたい事になり、5人になったことも。子どもたちの個性、多様性を認め合いながら、自主的な参加の意欲を大切にしたいと思う。
- ・新年度は第117回目の入園式。伝統的な個性の尊重や行事を大事にしながら、これからもやっていこうと思っています。宜しくお願いいたします。

6、閉会

《その他》

- ・園長が今年度で退職し、来年度からは津川さんが新園長となる。

津川さんより

- ・今日拝見したことが全てだと思う。派手な事ではなく、一つ一つ身に着けていくべきことを重ねて小学校で花開くのだと感じた。R6年度から宜しく願いいたします。

IV 財務の内容 (令和5年度)

1、資金収支計算書

収入の部		
科 目	令和4年度	令和5年度
学生生徒等納付金収入	12,955,419 円	8,884,645 円
寄付金収入	250,281 //	265,116 //
補助金収入	139,973,140 //	149,654,770 //
付随事業・収益事業収入	4,656,801 //	4,747,381 //
受取利息・配当金収入	3,267,396 //	2,788,704 //
雑収入	5,258,120 //	2,220,536 //
その他の収入	131,533,513 //	130,750,503 //
資金収入調整勘定	△7,670,910 //	△9,418,750 //
前年度繰越支払資金	40,146,560 //	37,419,992 //
収入の部合計	330,370,320 円	327,312,897 円
支出の部		
人件費支出	137,180,542 円	130,256,256 円
教育管理経費支出	29,235,342 //	27,037,949 //

借入金等返済・利息支出	0〃	0〃
施設・設備関係支出	40,516,178〃	213,939〃
その他の支出	86,689,886〃	128,842,742〃
資金支出調整勘定	△671,620〃	△243,503〃
翌年度繰越支払資金	37,419,992〃	41,205,514〃
支出の部合計	330,370,320 円	327,312,897 円

2、貸借対照表

資産の部		
固定資産	406,800,546 円	404,030,916 円
流動資産	45,329,072 円	50,783,044 円
資産の部合計	452,129,618 円	454,813,960 円
負債の部		
固定負債	7,698,540 円	5,560,820 円
流動負債	1,245,290 円	871,833 円
負債の部合計	8,943,830 円	6,432,653 円
純資産の部		
基本金の部合計	331,334,746 円	332,016,050 円
繰越収支差額		
翌年度繰越収支差額	111,851,042 円	116,365,257 円
負債及び純資産の部合計	452,129,618 円	454,813,960 円

【注】 ・重要な会計方針の変更、該当事項なし。 ・減価償却額の累計額の合計 : 167,606,394 円
・昨年度は、創立 115 周年記念事業を行い施設設備充実。

